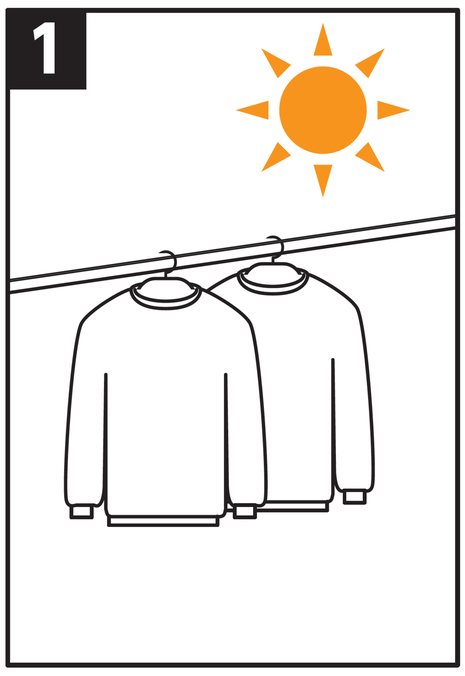
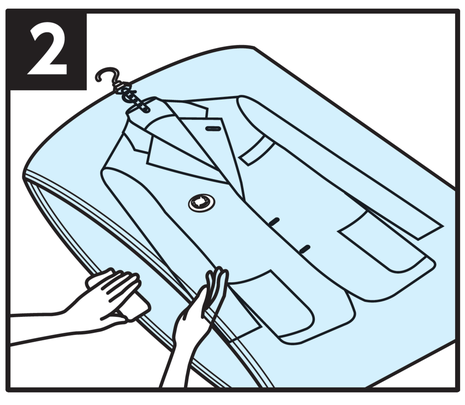
ご使用になる前によくお読みいただき正しくご使用ください。このパッケージは捨てずに保管してください。

ご使用方法



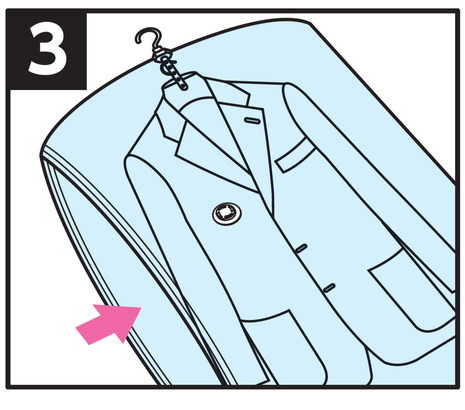
●ダニやカビの発生原因となりますので、収納物は充分に乾燥させてください。

※ドライクリーニングした場合は、数時間陰干しして充分に乾燥させてから収納してください。
※天日干しの場合は晴天時に表2.5時間・裏2.5時間程度干してください。
※乾燥機を使用する場合はお手持ちの乾燥機の取扱説明書の内容に従ってください。
※乾燥後はよく冷ましてください。熱が残ると圧縮袋内で結露し、カビの原因になります。
※羽毛製品の場合は陰干ししてください。



●ファスナー部分の内側を乾いた布で軽く拭いてください。異物がはさまっていると空気が入る原因になります。

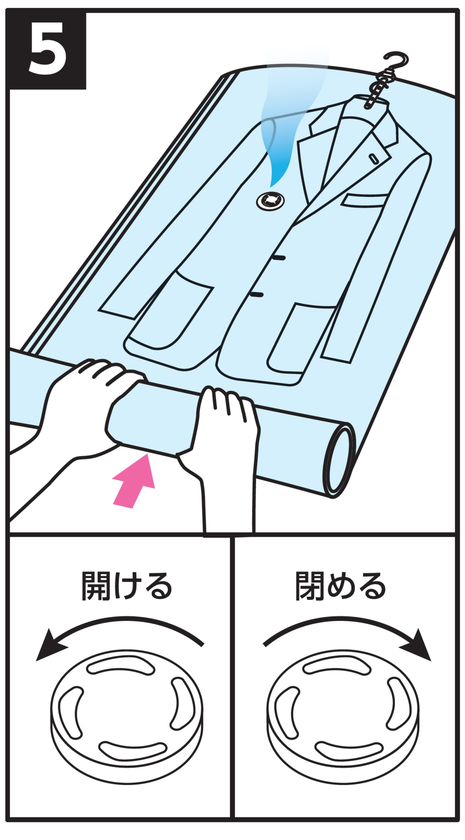
※水分が入るとダニやカビの発生原因となりますので、よく乾いた布をお使いください。



●ハンガーに掛けた衣類を圧縮袋内のフックに掛けます。

●スライダーをしっかりはさみながらゆっくりスライドさせて閉じます。

※ファスナーを勢いよく閉じると破損するおそれがあります。
※ファスナー部分がきちんと閉じているかどうか、指で確認してください。
※スライダーで圧縮袋をキズつけないようにご注意ください。
※スライダーは引っ張るなど力を加えると外れます。紛失などに充分ご注意ください。

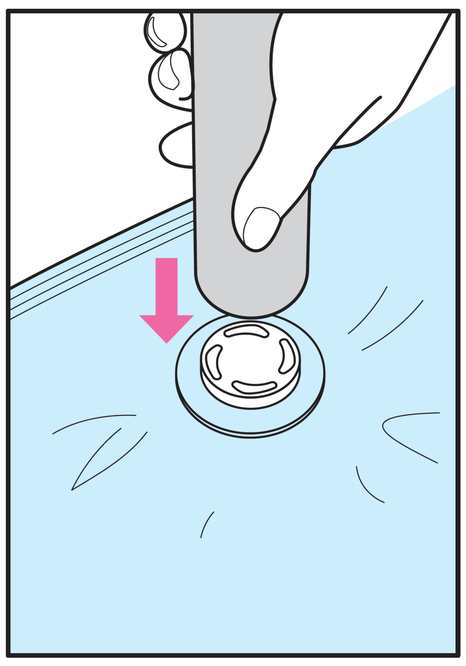


●バルブを反時計回りにして開きます。バルブの面を上にし、衣類の下から手で巻くようにして中の空気を押し出します。圧縮後はバルブを時計回りにして閉じます。

※スライダー部分を強く握って圧縮しないでください。
※爪などで圧縮袋を傷つけないようご注意ください。

●圧縮袋はくり返し使用できます。

掃除機を使用するとき



●バルブを開いてから掃除機ノズルの先端を垂直にあて、掃除機のスイッチを入れ吸引してください。

※掃除機ノズルにバルブがぴったり嵌まる場合は、ノズルを無理に押し込まないでください。バルブが嵌まり込んで外れなくなるおそれがあります。
※通常1分程度で吸引できます。うまく吸引できない場合は掃除機を使用する際の注意をよく読み、もう一度やり直してください。
※圧縮袋が傷みやすくなるためカチカチになるまで圧縮せず、衣類は1/2を目安に圧縮してください。

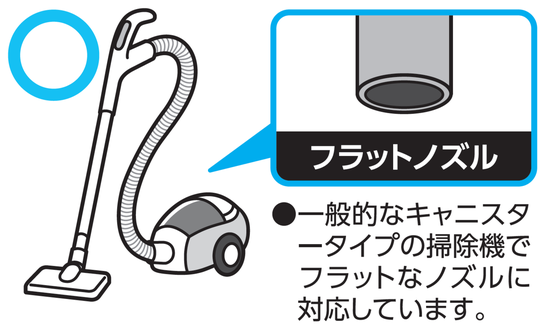
●掃除機のスイッチを切り、掃除機ノズルをはずし、バルブを閉じます。

〈ファスナーの確認〉

最後にファスナーが完全に閉じているかどうか、再度指で確認してください。

⚠掃除機を使用する際の注意

●掃除機の機種によって使用できないものがあります。
●スティックタイプ・ハンディタイプの掃除機では、吸引力が弱いため圧縮できません。
●ご使用になる掃除機の取扱説明書をご確認ください。
●掃除機内のゴミはご使用前に必ず捨ててください。吸引力が低下し圧縮できなかったり、モーターに負担がかかり故障の原因となります。
●1分以上の連続吸引はしないでください。モーター過熱による故障の原因となります。
●吸引開始後1分程たっても圧縮が完了しない場合は、掃除機を止め10分程おいてから再度やり直してください。
●モーターの加熱により掃除機がストップした場合はモーターの保冷機能がが作動している場合があるので、約2時間ほど運転を控えてください。
●続けて2袋以上圧縮する場合は、30秒以上空運転してから吸引してください。
●圧縮袋に入れた収納物を上から手で押さえると吸引が早く進みます。



●一般的なキャニスタータイプの掃除機でフラットなノズルに対応しています。

⚠警告

●乳児や幼児の手の届かない場所に保管してください。袋をかぶって窒息するなどの危険性があります。
●本品は衣類を圧縮収納するための袋です。用途以外の目的で絶対に使用しないでください。

衣類を取り出すとき

●ファスナーを開けて収納物を取り出します。

※圧縮された収納物の厚さは乾燥させることにより圧縮前の約70～90%に戻りますが、素材や使用状況により差が出る場合がありますのでご了承ください。
※羽毛製品の場合は陰干ししてください。

⚠使用上の注意

●ダウン70%以上の羽毛製品にご使用いただけます。羽根製品やフェザーの多い羽毛製品には使用しないでください。(羽根が折れてかさが戻らなくなったり、圧縮袋をキズつけて空気もれする原因になります。)また、起毛処理された物(毛足の長い物)・皮革製品にも使用しないでください。
●収納物の材質表示ラベルをご確認の上ご使用ください。圧縮に適しているか不明な場合は、衣類をお買い上げの店舗・メーカーまでお問い合わせください。
●ボタンやファスナーがある場合は圧縮袋を傷つけるおそれがありますので、たたむときに内側に折り込んでください。
●型くずれやシワが気になる衣類(スーツ、シルク、毛皮、高価な衣類など)へは使用しないでください。
●クリーニングから戻ってきた衣類は、一度乾燥させてから圧縮袋に入れてください。溶剤が残っている場合、シミの原因となります。
●収納物は充分に乾燥させてください。
●収納物のサイズ・厚みなどにより収納枚数は異なります。
●収納物の入れすぎは空気もれの原因となります。
●収納物の素材・種類・使用状況・量により圧縮率・回復率は異なります。
●圧縮袋の穴あきや破損の原因となりますので、圧縮袋を引きずったり、鋭利なものと一緒に保管などしないでください。
●火のそばに近づけたりキズをつけたりしないよう注意してください。
●付属のスライダーでの思わぬ事故を防ぐため、小さなお子様の手が届かない場所で使用、保管してください。
●防虫剤・防カビ剤などは収納物の変色・変質の原因になりますので併用しないでください。
●この圧縮袋は長期保管用ではありません。脱衣後の衣類を入れる場合は、カビやシミの原因となりますので、なるべく早く取り出してください。
●圧縮袋は繰り返し使用できますが、使用していくうちにキズや劣化などにより圧縮できなくなります。
●廃棄時は各自治体の定める方法に従って処理してください。
●アレルギーやカブレなどを起こしやすい体質の方はご使用の際に手袋等をお使いください。
※商品の外観仕様等は、予告なく変更することがあります。